ポケットモンスター とある青年の物語(仮)

息抜きドライバー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
　この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ポケットモンスター　とある青年の物語（仮）

【Ｎコード】
Ｎ８０９８Ｖ

【作者名】
息抜きドライバー

【あらすじ】
とある地方で問題になっているトレーナーとそのポケモンを殺害する事件……
「なんだよ、それ………」
そしてこの事件に怒りを覚え立ち上がる１人の少年がいた……

こんな小説ですが基本は明るくやっていこうと思います。

それとこの小説は私八角ドライバーが書いている別の小説の息抜き小説となります。

カタツムリにスロウガ浴びせたぐらいの更新度になると思います。

それでもいい！

という方はどうぞお読みください！

0匹目　プロローグ（前書き）

息抜きドライバーです、ごきげんよう。

書いてしまいました。
ポケモン小説。
一応こちらは私、息抜きドライバーが書いている別の小説の息抜き小説となります。
ですので更新度はカタツムリにスロウガかけたぐらいの更新度となります。

それでもいい！という方はどうぞお読みください！

０匹目　プロローグ

「はかいこうせん」

「ギアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア！！！！」

叫び声をあげ、地面に倒れこむ歯車のような生き物。

１人の少年がその生き物に駆け寄り、必死に声をかける。

「ギアル！？しっかりしてくれ！！ギアル！ギア「終わりだ、ーーーーー、最大出力ではかいこうせん」」

少年とギアルと呼ばれた生き物は全ての飲み込む無常の光に包まれた………

光が消え去り、いつのまにか男はその場からいなくなり

光を受けた少年とギアルの息は…………………………

止まっていた。

0匹目　プロローグ（後書き）

これを読み終えた皆さんの反応を当てましょう。

えええええええええええええええええええええええええ！？！？Σ（゜Д゜lll）

だと思います。

ポケモンって使い方によってはこんな事にもなる気がするんですよね。

でもちょっとまずかったかな……？

こんな始まり方で大丈夫か？

→感想で答え求む。

1匹目　旅立ち…………かな。うんきっとそうだそうに決まってる。（前書き）

最近になって第2次スーパーロボット大戦Zをやり始めました。
ちなみに7週目です。

息抜きドライバーです。ごきげんよう。

ちょっとISの方が俗に言うすらんぷ状態になったらしいので
息抜きにこちらを投稿します。

まあ読んでる人なんていないだろうがな！！

それではどうぞ。

1匹目　旅立ち………かな。うんきっとそうだそうに決まってる。

ここはとある宿屋。

ここで一人の青年が目を覚ます。

「んんっ……ふわぁぁぁぁぁぁ………」

大きな欠伸をしながらゆっくりと目を覚ます青年。
青年はしばらくボーッとしてから服を着替え、食堂に向かった。

「おっちゃん朝飯頂戴。」
「おお、ちょっと待っとれ。」

青年は適当な席に座り、
おっちゃんと呼ばれた老人が朝食を持ってくる。

「それじゃ、いただきます。」
朝食はパン、モーモーミルクである。

ちなみに青年のポケモンは外に出し、老人特製のポケモンフードを食べている
青年がパンを齧りながらなんとなくTVを付けるとニュースがやっていた。

『では次のニュースです。男性トレーナーとギアルが殺害された事件で現場を調査したジュンサーさんが現場状況、殺害方法などから近日起こっている同様の事件の犯人と同一人物と発表しました……
……』

「………おっちゃん。これなに？」

青年の質問に老人が直ぐに答える。

「なんじゃお前知らんのか。最近巷で有名な事件じゃよ。殺害方法が必ず同じ。現場には必ず謎の紋様がトレーナーの右の掌に刻まれておるらしいぞい。ニュースを見る限りじゃとこれで5件目じゃな……」

「ゴクッゴクッ………ぷはぁ……へぇ、そうなんだ。」

モーモーミルクを飲みほして青年がそう呟く。

青年はそっけない反応をしていたがその目には激しい怒りが浮かんでいた……

「のう、お主。」

「何？おっちゃん。」

「かっこよく決めたのはいいのじゃが口周りにミルク付いとるぞ。」

「…………」

そして物語は始まる………

1匹目　旅立ち………かな。うんきっとそうだそうに決まってる。（後書き）

うん……短い。

さてさて、主人公の登場なのですが……
主人公の名前決めてなーい…

一応名前募集します。
この名前にして！
など
いやいやこの名前！
とか
○○は俺の嫁
でもいいので。

感想欄にユーザー名残したくなーい。
と言う方はメッセージでアイデアをご投票ください。

期限?
そんなもんないよ↑え

ちなみに手持ちはしっかりと考えております。

それではっ！

２匹目　実際、進化ってどんな感じなのだろうか？（前書き）

息抜きドライバーです。ごきげんよう。

風邪に侵された＋ＩＳの方のアイデアが出ない＋短編のアイデアばかりでてくる……

ええぃこんな時はこいつを投稿だっ！！

ではでは、どぞ。

2匹目　実際、進化ってどんな感じなのだろうか？

「よっしゃ草むらついたー。そんじゃ金を奪……じゃなくてトレーナーと戦いまくるっ！」

青年は大張り切りしていた。
とは言ってもやや残念な方に張り切っているのだが。

「でもよ………」

だが青年はすぐにやる気がなくなる。

「なあああぁぁぁぁぁぁぁぁぁぁんで誰もいないのさあああぁぁぁぁぁぁぁぁぁぁああぁぁぁぁあぁぁぁぁあ！！！！！」

青年の大声が草むらに響き渡る。

「なんで？なんで誰もいないの！？アレか？ちょっとここで荒稼ぎし過ぎたからか！？そういえばさっき『ポケモンバトルに注意しましょう』って看板あったけどさっ！俺じゃないって信じてたんだよ！？でもやっぱぱｒ（（プエー、プエー））あ、メール来た。」

一人で大騒ぎしている青年に一通のメールが届いたようだ。

差出人：宿屋『おっちゃんの真心』
件名：お知らせ

今回は宿屋『おっちゃんの真心』をご利用いただき、誠にありがとうございました。

当宿屋ではお客様へのサービスとして
お客様の今後の予定を予め聞いておきお客様が出発してしばらくしてから予定を連絡すると言ったサービスを行っております。

ではシュウ様の今後のご予定を連絡させていただきます。

正午よりセイウンシティにて開催のバトルトーナメントの出場。

その後、出場チェックを済ませてから大会に参加。

それではいってらっしゃいませ。

おっちゃんの追記。
大会頑張れよ（ ´ ∀｀）ｂ

「おっちゃん…………」

メールを読み終えた青年は感動に打ちひしがれている。
と思いきや青年はたちまち真っ青になっていく。

「大会…………」

おそるおそる現在時刻を確かめる青年。
青年が確認した時計には

『１１：４０分』

と記されていた。

ちなみに青年のいる草むらからセイウンシティまでは約４０分かかる。

「やっっっっべえええぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇぇえぇぇぇええぇぇぇぇええええええええ！！！！」

青年は脱兎の如く走り始めた。

Ｎｏｗ　ｌｏａｄｉｎｇ…

セイウンシティ：スタジアム

街一番の大きさを誇るスタジアムにたくさんのトレーナーが集まっている。
そこには肩で息をしながら列に並んでいるシュウもいた。

どうやら間に合ったらしい。

「（つ、疲れた……てか、なんかもう、帰りたい…………）」

その頃、シュウが元いた草むらでは

「なんで誰もいないのよー！！」

一人の少女が叫んでいた。

「たくさん稼げるって聞いたのにー！！！」

どうやらこの少女もポケモンバトル（カツアゲ）目当てだったらしい。

すると少女は突然モンスターボールを構えだした。

「焼く。もぅいい焼く。」

フフフ……

と何かの糸が切れたかのように笑い始める少女。

ハッキリ言ってかなり危ない。

「できる。今の私ならこの草むらを焼き払える。よし焼k「あのぉ」

……何？」

少女が放火を始めようとしたその時、突然現れた人物が少女に話しかけてきた。

そしてその人物は少女に話しかける。

「バトルしようよ。」

と。

2匹目　実際、進化ってどんな感じなのだろうか？（後書き）

え〜……

まさかあんな方法で主人公の名前が明かされるとは自分でも思いませんでした。

それとセイウンシティの説明です。

星がきらめく大都会セイウンシティ。
天文学者達はなぜ大都会なのに星がよく見えるのか常日頃、議題として話し合ってるらしい。
ちなみにこれ、オーロラ地方七不思議の一つにカウントされてたりする。

残りの六つの話はまた別に……

それではいつになるかわかりませんが次の更新で会いましょう。

それではっ！

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n8098v/

ポケットモンスター　とある青年の物語(仮)

2011年10月9日11時16分発行